

2025年1月10日

各位

東京建物株式会社

布と人々の新しく豊かな関係を探る 企画展「生命あるもの -プリントによる布の新たな可能性-」

BAG-Brillia Art Gallery-で1月23日（木）より開催

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 小澤 克人、以下「東京建物」）は、2025年1月23（木）から2月9日（日）まで、東京建物京橋ビル1階の「BAG-Brillia Art Gallery-」（バッグ ブリリア アート ギャラリー、以下「BAG」）で企画展「生命あるもの -プリントによる布の新たな可能性-」を開催します。



BAG では、「暮らしとアート」をテーマにした展覧会を企画・開催しています。

本展は暮らしに身近な「布」を題材として、手作りホビー材料の大型専門店「ユザワヤ」と東京藝術大学デザイン科が共同で取り組んだプロジェクトの成果発表展として企画されました。本展の開催にあたって、東京藝術大学の有志 19 名の学生は、プリントによる布の可能性を見出すべく、2024 年 4 月から約 10 回のワークショップを実施しました。

本展のテーマは「生命あるもの」です。これは、「布と人々の新しく豊かな関係」全体を包む概念として設定されました。ユザワヤの布に関する知見や技術と、藝大デザイン科の学生たちの創造力を組み合わせ、布が持つ価値や可能性を生活や社会にどのように活かせるかを探っています。

会場にはおよそ 80 種類の独創的なデザインのプリントが施された布と、プリント布によるさまざまな製品のサンプルを展示します。

● 展示内容

・ BAG 内展示スペース「+1」

藝大デザイン科の学生たちが、「命あるもの」というテーマをどう読み解き、それをファブリック（布）へと昇華させたのか。その成果は、既視感のない独創的な布の数々として現出しています。これらの 80 種余のファブリックの集合体は重なり合い配列を成して、空間に浮遊しているかのように幻想的な体験を提供し、一つのモジュールとして組み上げられたインスタレーションとして会場に結実しています。

・ BAG 内展示スペース「+2」

完成したファブリックを使用して制作した衣服や日用品、オブジェなどの数々を展示します。



展示作品例（オブジェ）

● 指導教員プロフィール

・ 松下 計（まつした けい）

東京藝術大学デザイン科 教授。1961 年生まれ、神奈川県出身。1985 年東京藝術大学デザイン科卒業。1987 年同大学院デザイン科ビジュアルデザイン専攻修士課程修了。1990 年に松下計デザイン室を設立。1997 年に JAGDA 新人賞、東京 ADC 賞、文部科学大臣賞、グッドデザイン賞受賞。2010 年よりグラフィックデザイナー、アートディレクターとして、グッドデザイン賞のディレクション、21_21 DESIGN SIGHT の企画展カタログ、特別展「運慶」の広報ディレクションなどを手掛ける。



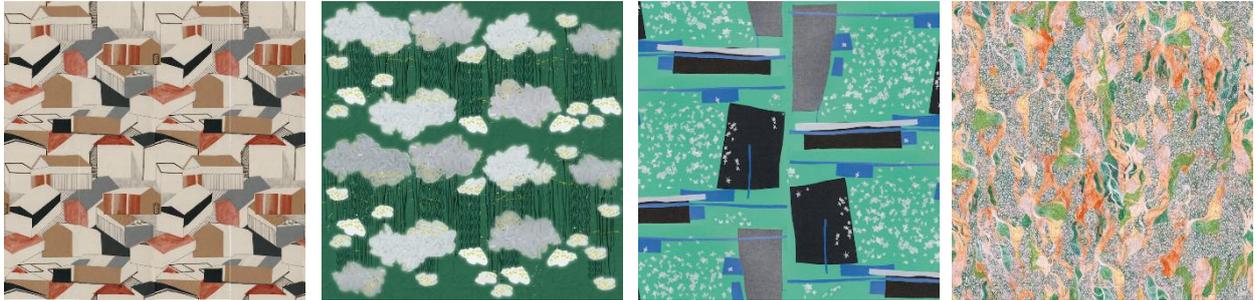
・ 丸山 素直（まるやま すなお）

東京藝術大学非常勤教員。東京藝術大学デザイン科を卒業後、同大学院を修了。在学中にウィーン応用美術大学でグラフィックを学ぶ。絵画からテキスタイル、パッケージや広告などのイラスト、デザインなど、領域やメディアを横断して国内外で活動する。またワークショップデザイナーとして、幅広い年齢層や環境に合わせた表現活動を企画している。



● 参加作家：東京藝術大学デザイン科 学生 19名

石綿 ひよ莉/延命 奈優/オウ セイイ/オ チェリン/大野 夏実/坂田 真紀/資延 美葵/白井 久瑠見/
ショウ コウ/仁科 維/箱根 希美/船橋 生桜/向佐 満里子/石岡 紅緒/那須 響/橋田 朋奈/藤本 楓/
山下 瑚桃/山根 千花



参加作家による作品例

● 開催概要

展覧会名	「生命あるもの -プリントによる布の新たな可能性-」
会期	2025年1月23日（木）～2025年2月9日（日）
会場	BAG-Brillia Art Gallery- 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル 1階 開館時間：11:00-19:00（定休日：月曜）
料金	無料
主催	東京建物株式会社
企画	ユザワヤ商事株式会社、東京藝術大学デザイン科
企画監修	公益財団法人彫刻の森芸術文化財団
指導教員	東京藝術大学デザイン科 教授 松下計、同大非常勤教員 丸山素直
展示施工	MINGLE Design Office
協力	株式会社中川ケミカル
運営	株式会社クオラス
公式サイト	https://www.brillia-art.com/bag/

● BAG-Brillia Art Gallery-について

2021年10月に、東京都中央区京橋にオープンした、東京建物のアートギャラリーです。「+1」「+2」という2つの展示スペースで構成されています。

東京建物は、建物の提供だけでなく、さまざまなサービスを通して豊かな暮らしを提案する“住まいのトータル・ブランド”としてマンションブランド「Brillia」を展開してきました。建物やデザイン、インテリア選びなどはクリエイティブな活動であることから、さまざまなアート作品には暮らしを豊かにするきっかけや可能性が秘められていると考えています。

今後も BAG-Brillia Art Gallery-では、アートがもつ「空間を洗練させる力」に注目し、さまざまな視点から、日々の暮らしを彩る一つの体験となる企画を考案していきます。

公式サイト：<https://www.brillia-art.com/bag/>





THIS IS MECENAT 2024

本活動は、公益社団法人企業メセナ協議会より芸術・文化支援による豊かな社会づくりの取り組みとして認定されました。本活動の認定は2023年に引き続き2年目となります。

● プレスキットダウンロード URL

<https://www.dropbox.com/scl/fo/5mrfza9486wszw1zanrna/AEaHzV8QLr88v1AFu6Wleg?rlkey=ay5lzkuywbxxqstjjqhs326ca&st=dd237jt0&dl=0>

【本件リリースに関するお問い合わせ】

「2025 藝大展」 広報事務局（株式会社クオラス内） 担当：大下、鈴木

e-mail: brilliaartgallery.unei@pj.quaras.co.jp